

資料2－1

地域生活支援拠点の機能充実に向けた運用状況の検証及び評価手法について

1 趣旨

障害者の重度化・高齢化、「親亡き後」に備えるとともに、障害者及び障害児の生活を地域全体で支える支援体制の充実にあたり整備した「君津市地域生活支援拠点等」の機能の充実・強化に向けてPDCAサイクルに沿った検証・評価手法の構築を目指す。

2 評価の根拠

- (1) 障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針
 - ・障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の提供体制の確保に係る目標
地域生活支援拠点等について、令和5年度末までの間、各市町村又は各圏域に一つ以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、その機能の充実のため、年一回以上運用状況を検証及び検討することを基本とする。
- (2) 第3次君津市障害者基本計画・第6期君津市障害福祉計画・第2期君津市障害児福祉計画(計画期間:令和3年度から5年度)
 - ・令和5年度末までに地域生活支援拠点等の整備(完了)
 - ・年一回以上、運用状況を評価・検証
- (3) 第7期君津市障害福祉計画・第3期君津市障害児福祉計画(計画期間:令和6年度から8年度)
 - ・地域生活支援拠点等の確保
 - ・年一回以上、運用状況を評価・検証

3 評価手法の方向性

平成29年7月7日付、障障発第0707第1号「地域生活支援拠点等の整備促進について」(3)拠点等の必要な機能の充実・強化 ②効果的な拠点等の運営の継続において以下の方向性が示されている。

- ・協議会の部会等の場を活用し、利用者、家族等の関係者からの意見等の聴取
- ・市町村が定めた運営方針を踏まえた効果的、効率的な運営がなされているかの評価
- ・PDCAサイクルの確立
- ・必要な機能及び運営状況の評価指標に係るチェックリスト